No. 339
2018年８月１日

発　行　日本労働組合総連合会山口県連合会
〒753-0078　山口市緑町3-29　労福協会館３F
TEL 083-932-1123 FAX 083-932-1131
Eメール：rengo-yamaguchi@rengo-y.com
発行人　伊　藤　正　則
編集人　藤　田　英　二

広報
連合山口
http://rengo-y.com
平成７年５月22日第３種郵便物承認　毎月１日発行　購読料１部15円（組合費に含む）

平成30年7月西日本豪雨災害 緊急カンパの実施

７月の西日本豪雨災害によって亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、すべての被災された皆さまに心からお見舞いをお祈り申し上げます。

西日本豪雨は、大雨警報と土砂災害警報が山口県内すべての市町に発表されるなど、まれにみる記録的な状況であり、家屋の損壊や浸水被害、生命や身体に危害を受ける方も多く発生するなど、その被害は甚大なものとなっています。

連合山口では、そうした実態を踏まえ、被災地や被災地の住民の方々を支援するため「緊急カンパ」を実施しています。

各構成組織の皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

※なお、今回は山口県労福協と合同での取り組みとなります。

＜振込時の注意事項＞　摘要欄に、「義援金」とご記入ください。

義援金集約期間	2018年 7月23日（月）～ 8月31日（金）
義援金集約方法	振 込 み
振　込　先	金融機関　中国労働金庫山口支店
	口座名義　一般社団法人山口県労働者福祉協議会
	会　長　　中　繁　尊　範

※連合の産別対応について

産別対応と地区労福協の義援金取り組みが重複する場合は、産別の方針を尊重いたします。

▲光地区ボランティア

もくじ　p1 平成３０年７月西日本集中豪雨　p2 2018労使トップセミナー・2018政策調査団　p3 平和行動in沖縄・COCOLAND　p4 地協便り・労働相談事案コーナー

山口県労使雇用対策協議会

2018労使トップセミナー
働き方を見直せば組織はもっと成長する!

▲株式会社 長岡塗装店
常務取締役 古志野純子氏

▲セミナーには約100名が参加

山口県労使雇用対策協議会（以下、労対協という）は、７月18日に約100名の参加のもと「2018労使トップセミナー」を開催し、労対協の会員である連合山口からは34名が参加しました。

セミナーでは「中小企業においてどのように働き方改革を進めて行くのか」という視点で、株式会社長岡塗装店（島根県松江市）における取り組みについて、常務取締役の古志野純子氏より講演していただきました。

古志野氏は、取り組みのきっかけが、21年前の「若い職人が育たなければ長岡塗装店はダメになる」というベテラン職人からの訴えであったことや、以降、「社員が働き続けようと思える会社にしたい」との理念のもと、その時々で遭遇する社員の困りごとに対応するため、若年者の定着、出産･育児と仕事の両立、高齢者の雇用継続等の制度を整備し、その際には、社員との話し合いを徹底するなど納得性･公平性の確保にも努めてきた経緯を説明しました。

また、これらの取り組みの成果として、離職者の減少、社員のモチベーション向上、資格取得者の増加、仕事の質の向上、女性社員の活躍などを挙げたうえで、「まずは実践してみる。成果が出なければすぐに止めて、次の策を皆で考えれば良い」と述べ、機動性などの中小企業の利点を活かすことで、中小企業においても働き方改革は実践できると訴えました。

今後も連合山口は、山口県労使雇用対策協議会などの場を通じて、労使が抱える「働く現場の諸課題」に積極的に対応していきます。

米軍基地再編問題について学ぶ
～2018政策調査団を沖縄へ派遣～

連合山口政策委員会は、７月５日（木）～７日（土）に岡村委員長（JEC連合）を団長に総勢15名の政策調査団を沖縄県へ派遣し、在日米軍基地再編問題等について学びました。

▲対岸から辺野古キャンプ･シュワブ沿岸部を視察

連合沖縄の砂川副事務局長に同行いただき、学校や住宅街に囲まれている普天間飛行場の現状や普天間飛行場の移設先として工事が進められている辺野古キャンプ･シュワブ沿岸部を視察しました。

その後の意見交換では、連合沖縄役員より、駐留アメリカ軍兵が公務中に事件を起こした際の裁判権は米国が有するなど「当たり前のこと」が適用されない日米地位協定の問題点や運用ルールが守られていないオスプレイの飛行実態等を説明いただいたうえで、山口県も沖縄同様に米軍基地を有しているという立場から、参加者同士が基地問題に対する考えや課題等について活発な討論を行いました。

▲連合沖縄砂川副事務局長の説明のもと普天間飛行場を視察

2018平和行動 in 沖縄 に参加！

６月23日、沖縄慰霊の日と合わせて連合「2018平和行動in沖縄」が浦添市民体育館で開催され、連合構成組織、地方連合会から約1,200人が参加しました。集会では、「沖縄基地問題について」をテーマに沖縄タイムスの屋良朝博氏の基調講演、その後、神津連合会長があいさつをしました。翌日は、フィールドワークで「辺野古」「嘉手納基地」「チビチリガマ」「普天間」を視察、その後例年企画されていた集会・デモ行進については、「慰霊の日」と日曜日が重なり、国際通りが使用できないため今年は中止となりました。

マツダ労働組合
佐島　誠さん

連合2018平和行動in沖縄に初めて参加しました。嘉手納基地や普天間基地を間近で見る事で、その距離感や報道された訓練での事故がどれほど近隣に住む方々へ不安と恐怖を与えているかを感じる事が出来ました。チビチリガマの視察では、戦争の舞台となった場所は今もその惨劇を色濃く残し、被害に会われたご遺族にはその悲しみが今もなお残っている事を感じる事が出来ました。戦争が無くなれば基地は必要なくなり、それにより苦しむ人もいなくなります。戦争の悲劇を知らない世代にも伝承する事と、２度と戦争を起こさせない為に何ができるかを考える機会となりました。

自治労
山ノ口達也さん

集会で、連合の神津会長が、戦後73年を経過した今も繰り返される事件や事故への憤りと、「日本は大事なことを置き去りにしているのではないか、米軍基地問題は、沖縄に限らず、日本全国の問題である。連合は、それを胸に刻み、毅然とした態度で、政府に姿勢を正してもらう」とし、「沖縄の実状を学び、地域や職場、それぞれの中で発展させ、粘り強い取り組みをしてほしい」と参加者に訴えた。

式典では、「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を強く求めると同時に世界の恒久平和の実現に向けて運動を推進していくことを確認した。

ＪＲ連合　山口県協議会
事務局長　西本和史さん

今回２度目（1回目は根室）の平和行動の参加となりました。沖縄は日本で唯一の地上戦が行われた場所というのは歴史で学んでいたものの、当時の状況の話を聞いたり、今の若者の気持ちや考え方を聞くと胸が苦しくなりました。「ピースフィールドワーク」では辺野古キャンプシュワブ、嘉手納基地、チビチリガマ、普天間基地を見学しました。70年以上経過しても戦争痕が残る現地を訪れて、今まで以上に平和を訴えていくことの重要さを実感しました。今回感じたことを家族や組合員にもしっかりと伝えていこうと思います。

ご家族で、グループで、今年の夏の行楽計画

COCOLANDはいかがですか？

【労福協様指定施設】

ココランドは、2009年に旧厚生年金施設をコープやまぐちが取得し、働く人の施設の趣旨を活かしながら、ご家族や職場のお仲間など、幅広いみなさまにご利用いただいている人気のリゾート施設です。ぜひこの機会に、ココランドをご利用いただきたくご案内申し上げます。

ご予約・お問い合わせ
TEL 0836-33-6116

こころにのこる・コミュニケーションホテル
COCOLAND
SPORTS & RESORT
〒755-0091 宇部市（ときわ湖畔）上宇部75

地協便り

東部地域協議会から

～光・柳井地区会議青年委員会が独自行事を開催～

▲光地区会議青年委員会～ボウリング大会～

東部地協光地区会議青年委員会は、去る５月18日（金）、くだまつボウルに於いて、41名参加のもと、地区会議での地域交流を目的にボウリング大会＆懇親会を開催した。

参加者からは、「単組間の交流が深まった」「単組の対抗戦にしたおかげで盛り上がって良かった」等の声が聞かれるなど大好評に幕を閉じた。

▲柳井地区会議青年委員会～片添ヶ浜にて～

東部地協柳井地区会議青年委員会は、５月26日（土）に周防大島町片添ヶ浜に於いて、男性22名、女性15名、運営スタッフ９名の合計46名参加のもと、第２回地域交流会として地引き網＆海鮮バーベキューを開催した。野外での交流会ということで雨の心配もあったが、当日はスタッフの日頃の行いが効いたのか晴天に恵まれ、無事に地引き網スタート。初めて経験した方も多く、網を引くのに苦戦をするものの、結果アジ・グレ・ハマチ等大漁ということもあり、皆さん笑顔の中地引網終了。その後、海鮮バーベキューを行い、参加者全員で懇親を深めた。

▲東部地協加盟単組書記長研修会の様子

東部地協では、例年実施している、東部地協加盟単組書記長研修会を６月30日（土）岩国市福祉会館に於いて各単組の書記長を中心に28名参加のもと実施した。研修会ではフリーランスパーソナリティの平山真紀子氏を講師に招き、「話し方セミナー」と題し自らの経験談を中心に講演をいただいた。続いて連合山口の藤田副事務局長から「最低賃金」の講演、更には、前日国会で決まった「働き方改革関連法案」について、わかりやすく説明をいただいた。

東部地協では、今後も次世代を担う若手の活動家の育成に向けて、力を入れていきたいと考えている。

― 編集人：田中事務局長 ―

労働相談事案コーナー

【相談内容】　　相談者：大学生　アルバイト

大学が休みになったので飲食店でアルバイトを始めた。ところが聞いていた勤務時間はコロコロ変わるし、ほかの人が休んだ時には急な呼び出しもある。また、接客業務で入ったのに厨房作業もやらされるなど約束した内容と大きく違うが、口約束しかしていなくて契約の書類も貰っていないので言われた通りに従うしかないのか？

また、最低６か月間は勤める約束をしているので途中で辞めることは出来ないのだろうか？

アルバイトでも会社（使用者）は労働者に働く条件を書面（労働条件通知書）で明示することが決められている。相談者はこのような明示を受けておらず意に反した勤務を強要されているので、入社時に口約束で交わした条件についてあらためて書面で明示を受けるよう助言した。

特に明示義務のある重要項目（働く期間、働く場所・仕事内容、働く時間・休みの日、給料、退職に関する事）は必ず記入することとなっているので、よく確認し、もしこれらの明示された労働条件が事実と異なる場合には、労働者は労働契約を即時解除（退職）できることを説明した。また、帰郷のための旅費を要する場合には、使用者は負担しなければならないことも説明した。

連合山口カレンダー［8月］

2日　連合東京との意見交換会
4日　平和行動in広島
4日～5日　連合山口ユースリーダー研修会
7日　第8回三役会議
　　連合広島・長崎平和キャラバン隊山口激励集会
21日　第6回執行委員会
　　総括討論集会

地協連絡先

県央地域協議会
〒745-0071 周南市岐山通2-10 周南市役所仮庁舎別館内
TEL：0834（21）0768 FAX：0834（21）0290

東部地域協議会
〒740-0013 岩国市桂町2-6-1 こども館内
TEL：0827（22）0160 FAX：0827（22）0161

西部地域協議会
〒750-0001 下関市幸町8-16 下関市勤労福祉会館内
TEL：083（222）0869 FAX：083（223）9428

中部地域協議会
〒753-0078 山口市緑町3-29 労福協会館3階
TEL：083（902）1811 FAX：083（932）1131

［連合山口QRコード］

連合山口 検索

http：//rengo-y.com/